

平野の杜

学校の教育目標

志をもって学び、自律心と豊かな人間性を身に付け、地域・社会に貢献できる生徒の育成

令和5年5月17日 文責 教頭 浅野 知紀

◆本年度の委員の皆様よろしくお願ひします！

5月11日（木）15：30から本年度の第1回学校運営協議会を開催しました。本年度の委員の皆様を紹介します。今年度も4回の協議会を予定しております。委員の皆様どうぞよろしくお願ひします。

学識経験者	伊藤 克治 様（福岡教育大学教授）	委員	内野 知子 様（南ヶ丘1副区長）
会長	黒上 勝史 様（本校元PTA会長）	委員	高原 清美 様（南ヶ丘2副区長）
副会長	前迫由美子 様（本校PTA副会長）	委員	古賀 綾子 様（民生委員）
委員	羽立 高子 様（月の浦副区長）	委員	高橋 俊治 様（平野小学校長）
委員	永野 元生 様（平野台区長）	委員	前田由紀子 様（大野南小教頭）
委員	久家 幸雄 様（つつじヶ丘区長）	委員	清尾 昌利 様（月の浦小学校長）
委員	川邊 満徳 様（牛頭区長）	委員	児嶋 文子 様（教育委員会）
委員	川邊 勝滋 様（若草区長）		



◆学校経営要綱の承認を得ました 「立志、自律、貢献する生徒の育成」

会のはじめに、藤田天平校長から本年度の学校経営要綱について説明を行いました。まずは、「地域との共育」を基盤に「子どもが通いたい」「保護者が通わせたい」「地域が応援したい」「教師が働きたい」学校にしたいという教育理念を説明しました。そして、平野中学校は「時を守る」「場を清める」「礼を正す」という当たり前のことを誰にもできないくらい徹底する「凡事徹底」をキーワードに学校の教育目標である「立志」「自律」「貢献」する生徒を育成していくことを説明しました。最後に学校、家庭、地域が同じ目標を共有することが子どもの健全な育成につながることを述べて、委員の皆様のご承認を得ました。この承認を受け、本校では「立志」「自律」「貢献」を重点目標として「凡事徹底」をキーワードに1年間の教育活動を進めていきます。保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力をどうぞよろしくお願ひします。



◆地域貢献活動・小中連携の取組・校則変更についての説明

会の後半では、地域貢献活動・小中連携の取組・校則変更についての説明を行いました。地域貢献活動では昨年度1500名以上のボランティアが地域活動に参加し、自主的に地域行事に参加した生徒は、100%となりました。これは、地域行事に参加した生徒が地域の皆様やご家庭で認められ、褒められることで自己有用感が高まり、達成感を味わうことで自尊感情の醸成につながっていると考えられます。今後もそのスパイラルを継続していくことで更にボランティアへの意識が高まると考えています。小中連携の取組では昨年度、3小学校の6年生に本校教員が出前授業を行いました。6年生は中学校が大切にしていることを入学式前に知ること入学前に何をすればよいか準備期間を設けることができます。このことが中1ギャップ解消につながると考えています。会の中で本年度は3小学校とも12月に前出授業を実施することを確認しました。校則変更についての説明では、ここ数年、LGBTQ、ジェンダーレスの考え方が世の中に浸透し、学校においても男女の制服や校則の問題が大きく取り上げられています。学校でも子どもたちの意見を取り入れながら、校則の見直しを行いました。その経緯と現在の子どもの様子を説明しました。

今回の説明でまどかプラットの有効的な活用についてご意見をいただいたので改善してまいります。まどかプラットのポイントは獲得したポイントに応じて様々なものに交換できるので積極的に情報を発信していきます。

会の最後に福岡教育大学教授の伊藤 克治先生から以下の指導・助言をいただきました。(一部要約)



①学校運営協議会の義務・責任について

- 学校運営協議会は、校長の学校経営について承認、意見、協議を行う会であり、本日の会は学校の目指す方向性が共有できたのでその義務と責任を果たしていた。
- 時代の先端を見据えた素晴らしい学校経営要綱である。承認後は学校経営に関することを委員は意見を述べ具申もできる。目標を達成するために、進捗状況を確認していくことが大切である。
- 学校運営協議会の回数が年間4回なので少ない印象があるが、コミュニティ活動推進委員会と地区別生徒集会在が学校運営協議会の実働組織になっている。子どもが地域で関わりながら学んでいる価値ある学校となっている。

②生徒の様子について

- 生徒が親しみを感じる挨拶を率先して行ってくれた。挨拶は人に対する存在を認める行為なので挨拶を受けた人は認めてもらった認証を行うことが大切である。そのことが凡事徹底の中で意識せずに行っていることが素晴らしい。
- 体育祭スローガン「点滴穿石～世代を超えた感動を巻き起こせ～」から子どもが世代を超えた地域との交流や後輩と年代をこえた校則を守る方向性や価値文化を想像していく力を想像させる。子どもが主人公である視点から自己指導能力の育成につなげてほしい。

以上の指導・助言を受けて今後の教育活動の中で次の2点について改善を図っていきます。

①自己指導能力の育成について

自己評価や他者評価を行う場を、授業や特別活動、学校行事等に位置づけ、振り返る場の設定を行い、自分の成長を感じ取ることができるようにしていきます。

②凡事徹底について

教育活動全体を通して「時を守る」「場を清める」「礼を正す」という当たり前のことを誰にもできないくらい徹底することを意識し、教師も率先垂範で実行していきます。

※次回は7月12日(水)15:30から多目的室にて行います。